

2024年8月26日

第3回交通円滑化推進会議

企業の皆さまへ

# 万博TDMトライアル 計画概要

万博会期本番に向けた万博TDMトライアル実施に係る計画概要をまとめております。

万博TDMトライアルの実施に向けた参考資料として、ご活用いただければ幸いです。

<b>1 万博TDMトライアル期間</b>	<b>[補足資料①]</b>
2024年9月30日(月)～10月4日(金) [平日5日間]	
<b>2 実施目的</b>	<b>[補足資料②]</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・TDM パートナー登録企業等による TDM トライアルへの参加、並びに課題の把握</li> <li>・TDM トライアル内容と低減交通量の相関関係の把握 (交通量低減における TDM の有意性確認)</li> <li>・検証結果の公表による TDM 取組の重要性に関する企業の意識向上</li> </ul>	
<b>3 実施対象</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通円滑化推進会議構成団体 (大阪府市、博覧会協会、経済団体等)</li> <li>・大阪市内の国等の行政関係機関 (約 40 機関・事業所)</li> <li>・万博 TDM パートナー企業等</li> </ul>	
<b>4 実施エリア</b>	<b>[補足資料③]</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・重点エリア：万博会場周辺、Osaka Metro 中央線周辺</li> <li>・主要エリア：大阪市内等の主要ターミナル周辺の駅シャトルバス発着地</li> </ul>	
<b>5 実施内容</b>	<b>[補足資料④、⑤]</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・時差出勤、在宅勤務・テレワーク、迂回出勤、休暇取得等</li> </ul>	
<b>6 実施目標</b>	<b>[補足資料⑥]</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪府市： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 咲洲庁舎、ATC 庁舎部局において、7 割の職員の在宅勤務や時差出勤等の取組みを目指す。また、その他部局についても、一定の通勤削減に向けた取組みを検討</li> </ul> </li> <li>・博覧会協会：時差出勤等の取組みを 7 割以上の職員が実施</li> <li>・企業・大阪市内の国の出先機関：TDM の取組みを可能な範囲で実施</li> </ul>	
<b>7 効果検証</b>	<b>[補足資料⑦]</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・Osaka Metro 中央線の利用者数</li> <li>・府市協会、国等の出先機関、TDM パートナー企業等の取組み状況</li> </ul>	
<b>8 トライアル後の動き</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・2024.12 トライアルの結果公表</li> <li>・*検証結果速報は、整理次第、随時公表。</li> </ul>	
<b>9 その他</b>	<b>[補足資料⑧]</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・万博 TDM パートナー企業募集について</li> <li>・万博 TDM トライアル参加に伴うインセンティブについて</li> <li>・関連する行政 HP</li> </ul>	

## 1 万博TDMトライアル期間

- ▶ 万博会期中の来場者の安全・円滑な輸送に万全を期すため、トライアル期間を設定。
- ▶ 大阪・関西万博会期中において、最も来場者が集中すると予測される会期末に相当する期間の1年前をトライアル期間と設定。

## 《2024 年度カレンダー》

日	月	火	水	木	金	土
9/22	23	24	25	26	27	28
29	30	10/1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
<b>TDMトライアル期間 (9/30~10/4)</b>						
13	14	15	16	17	18	19

※インテックス大阪でのイベント状況を加味して、9/30-10/4 をトライアル期間として設定

## 《（参考）2025 年カレンダー（万博開催年度）》

日	月	火	水	木	金	土
9/21	22	23	24	25	26	27
<b>万博最混雑期 (会期末10/1~13)</b>						
28	29	30	10/1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13 閉幕日	14	15	16	17	18

《図-1：2024・2025 年度カレンダー》

## 2 実施目的

大阪・関西万博は、アクセスルートが限られた人工島での開催となるため、万博来場者を安全・円滑に輸送するためには、アクセスが特定の交通手段や経路に集中しないバランスの取れた輸送計画を立案することが必要であり、その計画を着実に実行するために十分な準備が必要となる。

そこで、万博来場者への対策として、

- ① チケットコントロールなどによる需要平準化策や
- ② Osaka Metro 中央線の運行本数増便や会場周辺の道路整備などの供給拡大策

等の来場者輸送対策を実施している。

しかしながら、混雑が予想される特定の時間帯などにおいては、これらの来場者輸送対策を実施してもなお、交通における課題が解消されないことから、一般交通の抑制、分散、平準化を目的としたTDMの実施への協力をお願いするものである。

今回、最も混雑が想定される会期終盤の1年前にあたる9月30日（月）から10月4日（金）にかけてTDMのトライアルを実施し、企業の皆さまに参加いただくことで、取組む上での課題の把握、ならびに得られた課題を企業内で議論いただき、会期本番につなげていくことで、より実効性のあるTDMの実施を目指すものである。

\* 交通需要マネジメント（Transportation Demand Management）の略称で、鉄道や道路利用者による交通発生源の調整や時間・経路の変更等の交通行動の変更を促して、発生交通量の抑制や集中の平準化など。交通需要の調整を行うことにより、交通混雑を緩和していく取組

## 4 実施エリア

- ▶効果的なTDMとなるよう、実施エリアにもメリハリをつけて戦略的に実施。
- ▶来場者等により、人流・物流が集中し、混雑が予想される下記を対象にエリアを設定。

## 「重点エリア」

- ▶万博会場のある夢洲、その周辺の咲洲、舞洲、桜島等
- ▶万博来場者の集中が予測されるOsaka Metro中央線周辺

## 「主要エリア」

- ▶万博会場へ向けて運行される駅シャトルバスのターミナル駅周辺

なお、実施エリアについては、上記「重点エリア」、「主要エリア」に位置する企業を中心に呼びかけを行うが、当該エリア以外の企業の皆さまにおかれても商談や打合せで、万博会場周辺の道路や、Osaka Metro中央線の利用が想定されるため、重点エリア・主要エリアを含む大阪府域の企業を対象に幅広くトライアルへの協力を依頼していくとともに、各種媒体を利用して周知を行う。

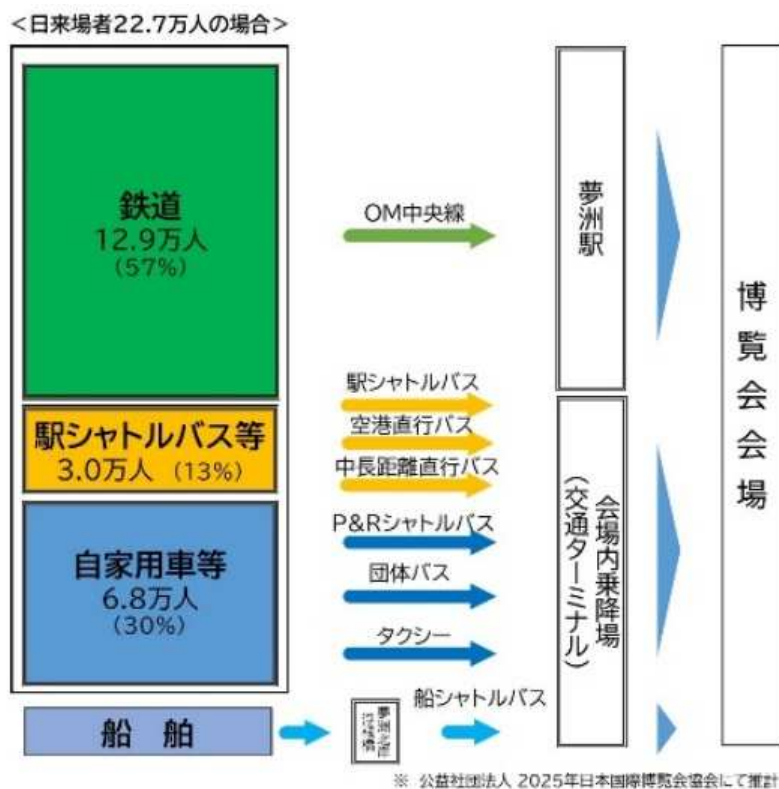


《図-2：重点エリア・主要エリア図》

## 5 実施内容《想定される主な混雑》

## ■万博には多くの人の来場が予測される。

1日來場者数は、非常に混雑する時期（会期終盤）には、約22.7万人<sup>\*1</sup>を想定している。  
 （鉄道を利用される方が約12.9万人<sup>\*2</sup>、道路を利用される方が約9.8万人<sup>\*3</sup>を想定）  
 これに伴い、会場周辺や大阪市内等の主要駅周辺へ、人流及び物流の集中が想定される。



《図-3：交通機関分担率》

- \*1：日來場者数の上位1割平均、
- \*2：Osaka Metro 中央線を利用する來場者数
- \*3：駅シャトルバス等、自家用車等を利用する來場者数

■来場者輸送対策を実施しても混雑の発生が予測される。

会期終盤の最混雑期には、来場者輸送対策を実施したとしても、一部の鉄道や道路で来場者による万博交通と通勤や物流等の一般交通が集中し、主に下記にて混雑の発生が予測される。

<鉄道・来場方向>

[Osaka Metro 中央線]

- ・弁天町～コスモスクエア間で  
平日朝ピーク時（8時台～10時台）  
に混雑
- ・混雑率（弁天町→朝潮橋間）  
約70%⇒約140%（2倍）

[Osaka Metro 御堂筋線]

- ・梅田～本町間で  
平日朝ピーク時（8時台～10時台）  
に混雑
- ・混雑率（梅田→淀屋橋間）  
約140%⇒約160%



≪図-4 鉄道混雑予測区間≫

<道路・来場方向>

[阪神高速道路]

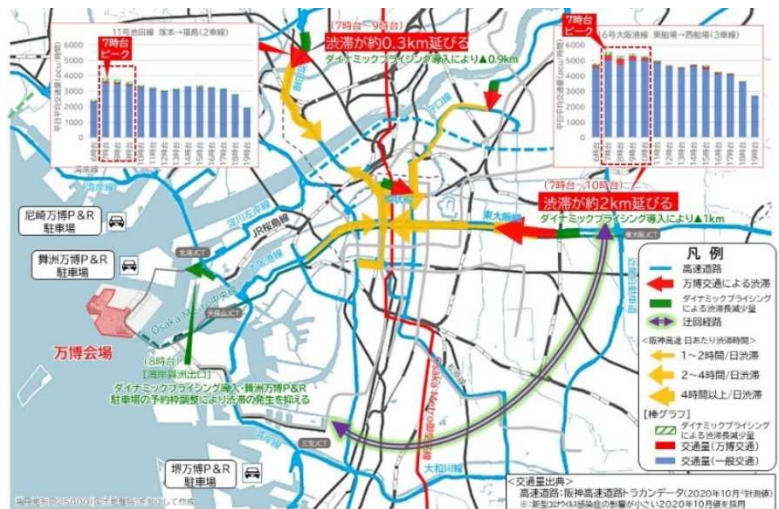
阪神高速道路池田線、東大阪線は、平日午前を中心に交通量が増加し、現在より渋滞の増加が予測される。

○阪神高速 東大阪線

- ・平日朝ピーク時（7時台～10時台）  
において、渋滞が約2km延長

○阪神高速 池田線

- ・平日朝ピーク時（7時台～9時台）  
において、渋滞が約0.3km延長



≪図-5 道路混雑予測区間≫

[一般道路（万博会場周辺道路）]

湾岸舞洲出口から会場までの一般道路は、平日午前を中心に駅シャトルバス等や自家用車等が増加する。

5 実施内容《企業の皆さまに実施いただきたい行動（具体例）》

企業の皆さまには、

- ・万博交通の集中が予測される Osaka Metro 中央線、御堂筋線の平日朝ピーク時（8時台～10時台）の利用を回避するため
- ・万博交通の集中が予測される 平日午前における万博会場周辺等の一般道路、阪神高速道路の利用を回避するため、の取組にご協力いただきたい。



《図-6 中央線混雑予測》

【主な取組例】

1. 移動量・配送量を削減する取組

【在宅勤務・テレワーク（鉄道・道路共）】

ex) 午前中の在宅勤務・テレワークの実施

【トライアル期間に合わせた計画的な休暇取得（鉄道・道路共）】

ex) 午前中の休暇の取得実施

【オンライン会議の推進（鉄道・道路共）】

ex) 午前中に予定される会議をオンラインにて実施

2. 混雑時期・時間帯を回避する取組

【時差出勤（鉄道・道路共）】

ex) 午前7時始業、午前7時30分始業、午前8時始業

\* 通常より早く出勤されるため、長時間労働にならないようにご注意ください。

【商談・打合せ時間の調整（鉄道・道路共）】

ex) 混雑時間帯を避けた時間帯での打合せの実施

3. 混雑場所・ルートを回避する取組

【迂回通勤（鉄道）】

Osaka Metro中央線（弁天町～コスモスクエア）、御堂筋線（梅田～本町間）を迂回する通勤の実施

\* 大阪メトロは乗降駅が同じ場合運賃は同じ



《図-7 中央線混雑予測》

※上記は、主な取組であり、上記以外にTDMとして、効果的な取組がある場合は、積極的に実施いただきたい。



## 6 実施目標

- ▶大阪府・大阪市職員、博覧会協会、ならびに、TDM 推進団体等（大阪市域の国の出先機関、経済団体、鉄道・バス・トラック事業者）において、万博 TDM トライアル期間中の取組みを展開する。

### 大阪府・大阪市

会期中の最混雑期（会期終盤）を見据えた通勤削減に取り組むべく、重点エリアに位置する咲洲庁舎・ATC 庁舎部局に通勤する職員について、時差出勤・在宅勤務等により、午前中の混雑時間帯（8 時台～10 時台）における通勤の7割削減を目指す。

また、咲洲庁舎、ATC 庁舎部局以外の部局についても、一定の通勤削減に向けた取組みを検討する予定である。

### 博覧会協会

大阪府・大阪市と同様に、咲洲庁舎・ATC 庁舎に通勤する博覧会協会についても、時差出勤・在宅勤務等により、午前中の混雑時間帯（8 時台～10 時台）における通勤の7割削減を目指す予定である。

TDM 推進団体等（大阪市域の国の機関、経済団体、鉄道・バス・トラック事業者）可能な限りの取組みを実施いただく予定である。



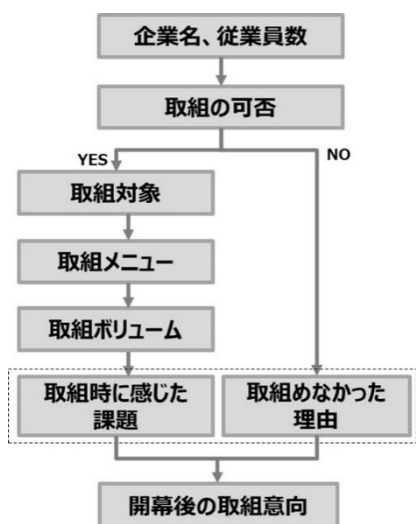
### 企業の皆さま

- ▶TDM の取組にご協力いただける企業の皆さまには、「補足資料⑤」に記載される主な取組例を参考に、社内で議論いただき、実施可能な取組について実践いただきたい。  
取組みはあくまで企業として可能な範囲で実施するものとし、目標値を求めることはない。

7 効果検証

《アンケートによる取組状況等の把握》

万博TDMトライアル実施後には、企業等による取組みの事態を把握すべく、府市協会、国等の出先機関、TDMパートナー企業等に対し、アンケートを実施予定である。



取組の可否にはじまり、取組対象、取組メニュー、取組規模、取組時に感じた課題、取り組めなかったと回答された場合の理由など、網羅的に把握できるよう、かつ回答いただく方々に負担感のないよう、基本的には選択式にする形で、実施予定である。

《図-8 アンケートフロー (TDM パートナー登録企業) 》

《Osaka Metro 中央線における交通量低減量の検証》

TDMの有意性を確認すべく、これらの取組みの交通量低減への影響について、Osaka Metro 中央線 (弁天町～コスモスクエア) をターゲットに利用者数等の変動を確認することで検証を行う。また取組内容との相関関係についても言及する。

■ 検証方法	<p>▶ 大阪メトロ保有データを提供いただき、「<u>トライアル時</u>」と「<u>同曜日の通常時</u>※」を比較し、<u>変化交通量を把握</u></p> <p>※通常時として、<u>年変動や月変動の影響を受けないよう、トライアル前後の前週、翌週を採用</u></p> <p>※インテックス大阪イベント利用者は、ニュートラムの中埠頭駅、トレードセンター前駅、コスモスクエア駅の利用者数を通常時と比較し、算出。交通量変動要素から排除。</p>
■ 検証箇所	▶ <u>大阪メトロ中央線 (弁天町⇒コスモスクエア区間)</u>
■ 検証時間	▶ <u>混雑対策が必要なピーク時間帯 (8時台～10時台) とその前後1時間</u> を対象
■ 検証データ	▶ <u>駅区間別利用者数、降車人数</u> 等
■ 検証内容	<p>▶ TDMトライアルによる効果検証 (影響把握)</p> <p>⇒ <u>在宅勤務や時差出勤等による利用者数の減少量</u>を把握</p> <p>⇒ <u>ピーク時間帯隣接の7、11時台への影響把握</u></p>



《図-9 検証対象区間》

《表-1 検証の考え方》

9 その他①（万博 TDM パートナー企業登録）

- ▶2023年12月27日に開催した第2回会議での方針を受け、2024年2月20日より、「TDMパートナー登録企業募集」を開始。
- ▶具体的には、WEB上で登録いただいた万博TDMパートナー企業さまには、企業さまへのヒアリング等でもよく聞かれた万博開催時の交通混雑情報や他の企業取り組みなどをメールマガジン形式のプッシュ型で配信するもの。
- ▶また、登録証の発行、事務局HPでの企業名・企業HPのURLの公表などを行うことで、TDMに取り組む企業の拡大、取組意欲の向上につなげていく。
- ▶まずは、直接、交通情報をお伝えし、理解を深めていただくとともに会期本番、トライアル含めTDM実施に向けた検討含め、企業活動に役立てていただくことが重要と考えており、是非とも、万博TDMパートナーへの登録にご協力いただきたい。

The image displays two sides of a recruitment flyer for the 2025 Osaka Expo TDM Partner Registration. The left side (front) features a red and white design with the title '万博TDMパートナー登録企業募集' and lists registration benefits such as 'SDGs realization contribution' and 'business promotion'. The right side (back) has a blue and white design with the title '企業の皆さまへ' and provides key statistics: '約22.7万人' of visitors, '約12.9万人' of public transport users, and '約9.8万人' of Expo 2025 attendees. It also highlights that Osaka Metro's congestion rate is 70% to 140%, which is 2 times higher than the general public, and that congestion can extend up to 2km. The flyer includes a table of registration conditions and a QR code for more information.

<図-10 万博 TDM パートナー登録企業募集チラシ（表面・裏面）>

\* 万博 TDM パートナー登録 専用ホームページ

大阪市:万博 TDM パートナー登録制度 専用ホームページ (…>2025 年日本国際博覧会の開催> 大阪・関西万博開催における取組み) (osaka.lg.jp)

## 9 その他②（万博 TDM トライアル実施に伴うインセンティブ）

- ▶ 万博 TDM パートナー登録に伴う登録証に加え、万博 TDM トライアルに関しても、ご協力いただいた企業の皆さまには下記のとおり、参加証の発行を予定している。



＜図-11 万博 TDM トライアル参加証（イメージ）＞

- ▶ くわえて、良いトライアルの取組をした企業については事例をHP上で公表することを予定しており、パートナー登録や万博 TDM トライアルの参加の促進につなげてまいりたい。

## 9 その他③（関連する行政 HP）

- ▶ 万博 TDM パートナー登録企業募集 専用ホームページ  
[大阪市：万博 TDM パートナー登録制度 専用ホームページ（…>2025 年日本国際博覧会の開催>大阪・関西万博開催における取組み）（osaka.lg.jp）](#)
- ▶ 交通円滑化推進会議  
[大阪市：2025 年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議（…>2025 年日本国際博覧会の開催>大阪・関西万博開催における取組み）（osaka.lg.jp）](#)